

第3章 市政経営方針

主要手段1 自然との共生が徹底されている

具体的手段(1) 災害に備え、地域の防災力が高まっている

我が国は災害列島と呼ばれ、毎年のように各地で大災害が起きています。そのことを認識し、自然災害に対する危機意識を高めなければなりません。

私たちは、平成16年(2004年)の台風23号をはじめとする過去の災害の教訓を踏まえ、「みんなの力で命と暮らしを守る」ことを理念に、防災・減災対策に取り組んでいます。災害の規模が大きくなるほど、自主防災組織など地域の人々の協力(共助)が大きな力を発揮します。そのためには、日頃から地域の自主防災活動や近所同士の関わり合いが大切です。

■取組方針

自然をいたずらに力で押し込めようとするのではなく、自然を理解し、畏れ、恵みに感謝する基本姿勢に立って、「賢く逃げる」態度と習慣を養います。

- ア 市民が過去の災害の教訓や豊岡の地理的な特性を知っている
- イ 世代間・地域内交流が行われている
- ウ 災害に備えた行動や訓練が実践されている

* 自然災害への備えとして国や県の治水事業等ハード整備を要望し、促すことは、今後も当然のこととして進めていきます。しかし、基本構想の中で「小さな世界都市」の条件として挙げられている「自然との共生が徹底されている」という観点からは、人々の自然観や自然と向き合う態度こそが重要、との考えから、この「市政経営方針」にはあえて記載していません。



各地域で行っている防災の啓発事業

災害は必ず起きることをリアルに想定し、減災の考え方に立ち、自助、共助、公助により、まち全体の災害対応能力を高めていきます。

ア 市民が過去の大災害の教訓や豊岡の地理的な特性を知っている

災害列島と呼ばれる私たちの国で、地震や台風等、それ自体を避けることはできません。しかし、大災害の経験や教訓は、何もしなければ時間とともに薄れてしまいます。私たちは、平成16年（2004年）の台風23号で得た教訓をもとに、将来起こりうる災害に生かす取組みを進めます。また、地域の地形や特性を学ぶ取組みを地域と協働でさらに進めます。

【4年間の事業例】

- 山陰海岸ジオパークの取組みなどを通じて、豊岡市の地理的特徴を学ぶ機会を提供します。
- 豊岡市で過去に起こった大災害の記憶を風化させない取組みを全世代で進めます。
- 地区内の防災まち歩きを実施します。

等

イ 世代間・地域内交流が行われている

被害は、共助により軽減することができます。大災害が起きたときに、真っ先に駆けつけ行動することができるのは、近隣住民です。災害発生時における地域での支えあい・助けあいの心を育むため、日頃から行政区内の世代間交流や地域内交流を促し、災害に強いコミュニティを形成します。

【4年間の事業例】

- 行政区別防災マップを正しく理解（災害リスクの把握）した上での避難訓練を実施します。
- 地域防災学習会等において、経験者から過去の災害について学ぶ機会をつくれます。
- 地域内の要援護者を積極的に知る機会をつくれます（運動会やラジオ体操、市民総参加訓練等、区民全員が集う機会での異世代間の交流）。

等

ウ 災害に備えた行動や訓練が実践されている

共助は市民の生命が守られてこそ機能します。災害が起きたときに、まず、自分と家族の命は自分たちで守る訓練を実践します。また、自助にしっかりと取り組んだうえで、自主防災組織を設立し定期的な活動を促進します。

【4年間の事業例】

- 家具の転倒防止対策や、異常を感じた時の早めの自主避難を促します。
- 大雨の時は自宅2階の山とは反対側で過ごすよう周知します。
- 災害時要援護者個別支援計画の作成の推進・行政区別防災マップのねらいを理解したうえでの避難訓練を実施します。

等

主要手段1 自然との共生が徹底されている

具体的手段(2) 自然と折り合う暮らしがまちに根付いている

私たちは、一度は日本の野外で絶滅したコウノトリをシンボルに、「コウノトリも住める豊かな環境をつくる」取組みを進めてきました。

コウノトリ育む農法や湿地再生事業などの取組みにより、コウノトリが飛び交う風景を取り戻すことができました。その取組みは、世界でも稀な成功例として評価を受けています。しかし、豊かな自然環境を取り戻すには、なお長い時間とエネルギーが必要です。

環境問題は、単に社会や経済の構造だけではなく、人々のライフスタイルにも起因しています。

私たちは、自然との触れ合いを楽しみながら、本市の自然環境に適合したまちづくりとライフスタイルを確立する取組みをさらに積極的に進めていきます。

■取組方針

「昔は、川の水より魚のほうが多かった」という話を聞いたことがあります。それほど自然が豊かであったということの表現として理解できます。「昔は、円山川の橋の上から、サケの大群が黒々と上っていくのが見えた」という方もあります。

コウノトリは、野に放たれ、野外のコウノトリは100羽を超えました。しかし、そのような豊かな自然はまだ失われたままです。

幸い豊岡には、コウノトリ放鳥後の野外での活動や繁殖に関する10年以上の観察データと科学的知見の蓄積があります。それらを活用して、「コウノトリも住めるような豊かな自然」を効果的・効率的に再生する取組みを進めます。

また、この地の自然と折り合う暮らしぶりを再構築し、生きものがあふれる自然の再生や地球温暖化対策を強力に進めます。

- ア 市民が豊岡の自然再生や地球温暖化対策の必要性を理解し、実践している
- イ 市民、地域、企業、団体等の普段の活動の中に環境適合性が浸透している
- ウ 持続可能な地域資源の利用が促進されている



田結湿地

ア 市民が豊岡の自然再生や地球温暖化対策の必要性を理解し、実践している

市民が自然環境について学び体験できる機会を提供します。また、市民が自然環境に適合した暮らし方や生活習慣を学ぶ機会を提供するとともに、豊岡の自然再生の実践を重ねます。

【4年間の事業例】

- 環境教育の充実、生きもの調査の実施、自然観察会の実施を支援します。
- ラムサール条約登録エリアでの交流や学習を推進します。
- 「豊岡自然再生アクションプラン」に基づき、モデル地区での実践を重ねます。
- CO₂排出量の削減など、地球温暖化防止に努めます。

等

イ 市民、地域、企業、団体等の普段の活動の中に環境適合性が浸透している

市民をはじめ、地域や企業等が環境問題解決のために各々が担う役割を理解し、行動に移すことを目指します。また、環境に適応した活動への支援、協力等に努め、実践を進めます。

【4年間の事業例】

- 小さな自然再生保全等の活動を支援します。
- 豊岡型ライフスタイルを推進します。
- 子どもの野生復帰大作戦を推進します。
- 省エネ活動を推進します。

等

ウ 持続可能な地域資源の利用が促進されている

資源は限りあることを市民一人ひとりが認識し、地域内で必要となる資源は地域で賄うという資源の地産地消を念頭におき、持続可能な地域資源の利用を促進します。

【4年間の事業例】

- 太陽光エネルギー、木質バイオマスエネルギー等の利用を進めます。
- 農林水産物の地産地消に取り組みます。
- 畜産と耕種の連携を進めます。

等

主要手段1 自然との共生が徹底されている

具体的手段(3) 環境と経済の共鳴が広がっている

私たちは、環境を良くする取組みによって経済が活性化し、経済の活性化が誘因となって環境を良くする取組みがさらに広がる、環境と経済が共鳴する関係を環境経済と名付け、その実践を広げる「環境経済戦略」に取り組んできました。

この戦略は、①環境を良くする取組み自体の持続可能性を確保し、②地域の経済的自立を図り、③自らの誇りにつなげることを狙いとしています。

世界各地で環境保全活動が経済的利益と衝突し、ときに挫折する中で、本市の環境経済戦略の取組みは、世界のモデルとなる可能性を持っています。

今後も、市民、地域、企業、団体、行政のさまざまな主体がお互いに知恵を出し合い、協働しながら、この取組みを強力に推進し、豊かな環境の保全と経済活性化の両立に挑戦していきます。

■取組方針

人々が日々の暮らしを続けるうえで、経済は、決定的に重要です。その経済が環境と対立関係にある限りは、環境問題の解決は困難です。

環境行動が経済を味方につけて、その推進力とする取組みを進めます。

- ア 環境経済の考え方に共感する市民が増えている
- イ 環境経済事業に取り組む企業が増えている
- ウ 環境負荷低減によるコスト削減に取り組む企業が増えている

ア 環境経済の考え方に共感する市民が増えている

環境と経済が共鳴し、好循環を生み出す「環境経済」という考え方が市民に理解され、その取組みを応援してもらえるように啓発活動に努めます。

【4年間の事業例】

- 「環境経済事業」認定事業者による合同イベントを行い、各事業所が作った商品をPRします。
- 市内の飲食店や城崎温泉などの宿泊施設などで地元食材を活用してもらうよう働きかけます。

等

イ 環境経済事業に取り組む企業が増えている

利益を追求し、かつ環境改善を目指す「環境経済事業」に取り組む企業を支援します。

【4年間の事業例】

- 「環境経済事業」認定事業者に対して、新技術開発や販路拡大などを支援します。
- 「環境経済事業」に認定されている事業者間のネットワークを構築し、情報共有や新ビジネスの創出を支援します。

等

ウ 環境負荷低減によるコスト削減に取り組む企業が増えている

市内企業が環境負荷の低減に取り組むことによって、コスト削減を図り、利益を上げられるように支援します。

【4年間の事業例】

- エコ事業所宣言に取り組む企業を増やします。
- 環境経営セミナーを開催し、環境経営に関するノウハウを企業に提供します。
- 豊岡市の下水道汚泥処理による省エネルギー・創エネルギーを推進します。

等

主要手段1 自然との共生が徹底されている

目標値

具体的手段(1) 災害に備え、地域の防災力が高まっている

評価指標	現状値 (H29年度)	目標値 (H33年度)
年1回以上の訓練実施区・町内会の割合	89.7% (322区)	90.0%程度を維持 (323区)
自主防災組織結成率	79.7% (286区)	100.0% (359区)
区・町内会での避難行動要援護者個別支援計画の策定状況 (作成が必要な全ての区に対する策定済みの区の割合)	33.9% 81区/239区	50.0% 120区/239区

具体的手段(2) 自然と折り合う暮らしがまちに根付いている

評価指標	現状値 (H29年度)	目標値 (H33年度)
「豊岡自然再生アクションプラン」に基づく、取組モデル地区数	—	8地区
太陽光発電システム導入補助世帯数	675世帯 (H28年度)	850世帯
ペレットストーブ等設置補助世帯数	103世帯 (H28年度)	180世帯

具体的手段(3) 環境と経済の共鳴が広がっている

評価指標	現状値 (H29年度)	目標値 (H33年度)
「エコ事業所宣言」取組み事業所数	10事業所	50事業所
環境経済認定事業数	65事業	100事業

関連データ

■北但大震災（北但馬地震）における被害状況

大正14年（1925年）

地域	全焼	全壊	半壊	破損	死者	負傷者
豊岡	1,137戸	724戸	588戸	2,148戸	136人	581人
城崎	575戸	61戸	56戸	167戸	283人	211人
竹野	—	31戸	72戸	593戸	—	—
日高	—	5戸	23戸	—	—	—
出石	—	5戸	200戸余	—	1人	—
但東	—	—	—	12戸	—	—
合計	1,712戸	826戸	939戸余	2,920戸	420人	792人

資料：市防災課

■戦後の代表的な水害

年月日	洪水要因	流域平均 2日雨量	最高水位 (立野)	浸水戸数
平成 16 年 10 月 20 日	秋雨前線・台風 23 号	278mm	8.29m	7,944 戸
平成 2 年 9 月 20 日	秋雨前線・台風 19 号	364mm	7.13m	2,508 戸
昭和 54 年 10 月 19 日	台風 20 号	211mm	6.74m	1,016 戸
昭和 51 年 9 月 10 日	台風 17 号	322mm	6.92m	3,022 戸
昭和 40 年 9 月 10 日	台風 23 号	233mm	6.86m	7,788 戸
昭和 36 年 9 月 15 日	第二室戸台風	184mm	6.87m	1,933 戸
昭和 34 年 9 月 26 日	伊勢湾台風	253mm	7.42m	16,833 戸

注) 流域平均 2 日雨量 (資料: 円山川河川整備計画(平成 25 年 3 月近畿地方整備局))

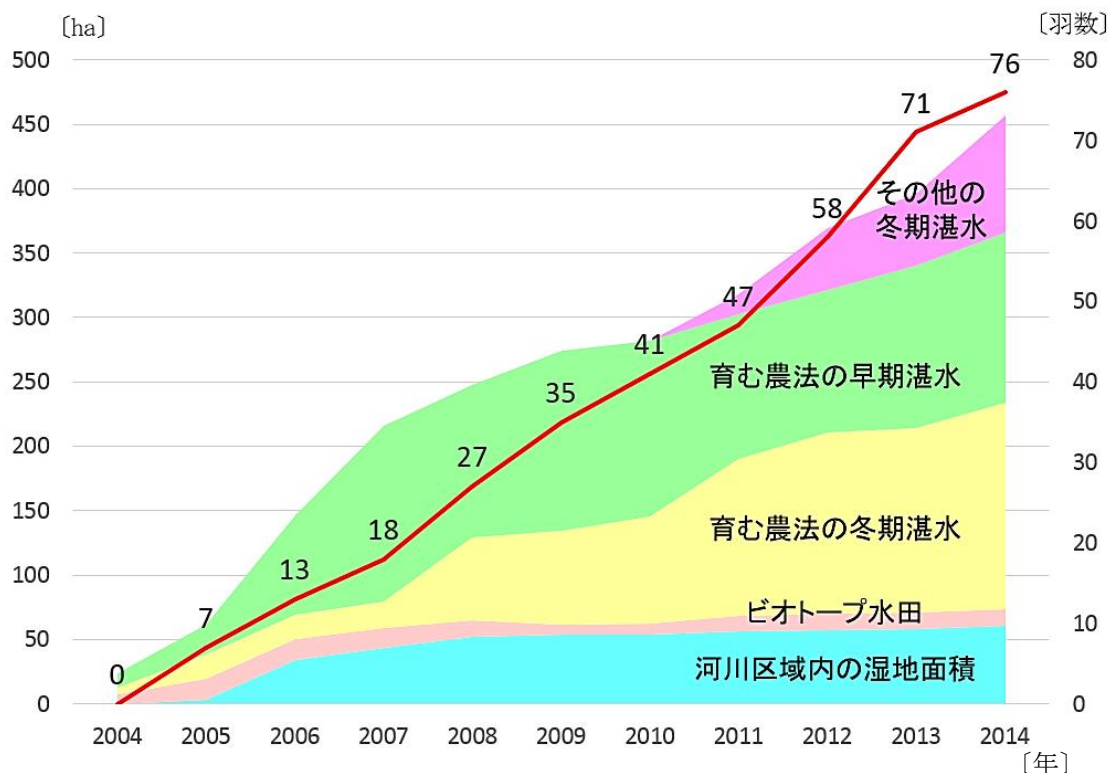
注) 浸水戸数は、旧豊岡市、旧城崎町、旧日高町、旧出石町の合計数値。平成 16 年(2004 年) 台風 23 号時の浸水戸数は、合併後の豊岡市の合計数値。(資料: 国土交通省豊岡河川国道事務所「明日へ生かそう! 地図が伝える水害体験」)

■台風 23 号(平成 16 年)における被害状況 (平成 17 年 3 月 25 日現在)

地域	人的被害				住家被害															
	死者	行方不明者	負傷者		全壊		大規模半壊		半壊		一部損壊		床上浸水				床下浸水			
			重傷	軽傷	損害割合 50%~		損害割合 40%~50%		損害割合 20%~40%		小計		損害割合 10%~20%		損害割合 ~10%		棟	世帯		
					人	人	棟	世帯	棟	世帯	棟	世帯	棟	世帯	棟	世帯			棟	世帯
旧豊岡市	1	—	19	27	231	396	849	866	2,081	2,358	200	200	278	309	218	244	60	65	2,208	2,394
旧城崎町	—	—	—	—	1	1	6	6	139	148	21	21	125	137	68	80	57	57	311	348
旧竹野町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	11	5	5	—	—	5	5	23	23
旧日高町	2	—	3	—	55	64	143	143	287	287	8	8	66	66	42	42	24	24	475	475
旧出石町	2	—	1	1	34	62	77	83	130	137	21	21	53	55	35	37	18	18	145	149
旧但東町	2	—	—	—	12	7	7	6	14	13	31	31	18	15	9	6	9	9	164	154
合計	7	0	23	28	333	530	1,082	1,104	2,651	2,943	292	292	545	587	372	409	173	178	3,326	3,543

資料: 市防災課

■コウノトリと湿地再生の相関図



資料: 市コウノトリ共生課